

2023年3月14日

各位

「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同表明について

四国化成ホールディングス㈱〔本社：香川県丸亀市、代表取締役社長：渡邊充範〕は、「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures 以下 TCFD）」提言について賛同を表明しましたので、お知らせいたします。

四国化成グループは、長期ビジョン「Challenge 1000」において2030年にありたい姿として「独創力で、“一歩先行く提案”型企業へ」を掲げ、独創的なアイデアで社会課題を解決し、世界をリードすることを目指しています。特に、気候変動は事業活動に長期的かつ大きな影響（リスク・機会）を与えることから、重要な経営課題であると認識しています。長期ビジョン Challenge 1000「STAGE 2（期間：2023年～2025年）」では、気候変動への対応をより一層強化すべく、気候変動に対する目標や具体的な取り組みを設定いたしました。

■ 四国化成グループにおける気候変動への取り組み（TCFD 提言への取り組み）

①温室効果ガス（GHG）排出量削減（CO₂換算）、②使用エネルギー削減（原油換算）について目標を設定し、取り組みを進めています。

今後も、事業活動を通じた社会課題の解決に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

なお、TCFDが開示を推奨する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の四国化成グループ対応状況については、以下をご覧ください。

- ・ウェブサイト (<https://www.shikoku.co.jp/environment/climate/>)
- ・「CSR 報告書 2022」の16～18ページ (https://www.shikoku.co.jp/wp/wp-content/themes/shikoku/assets/pdf/environment/e_houkokusyo_2022.pdf)

以上

このリリースに関するお問い合わせは
四国化成ホールディングス㈱ 経営企画室まで
TEL. 0877-21-4119